



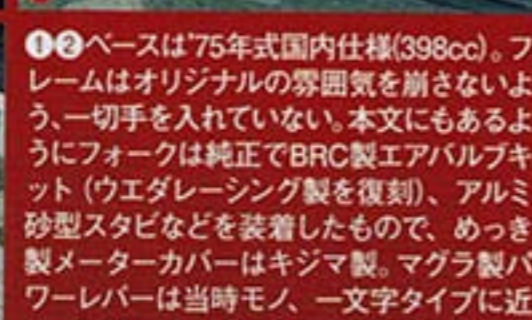
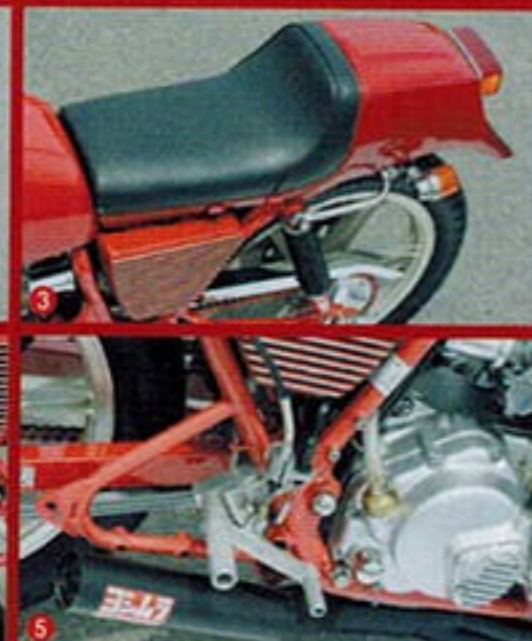
## 旧車+カフェという、一段深いビンテージの楽しみ

**BRC CB400FOUR**

TIRE:DUNLOP TT100GP [F]3.00-18・[R]3.50-18



1



- ① 特徴的なリアフェンダー一体型シングルシートは、城南ホンダ製のリプロ品
- ② エンジンは408ccクランク(ストローク50mm)、ヨシムラ製φ54.5mmピストンキットを組むことで466ccまでスプアアップ(カムもヨシムラST-1)。キャブはSTDをファンネル仕様としたものだ。クラッチは同店製強化タイプに変更されている
- ③ ステップはリアディスクブレーキ駆動をワイヤ引きとしたBRCオリジナル品

70年代、一世を風靡したカフェレジャー。BRCは、そのカフェの雰囲気を当時そのままに再現することで知られるショップだ。決して妥協しない作り込みは、車体各部に装着されたパーツの多くが、当時モノ(再販モノやレプリカではなく、当時生産されたオリジナルということだ)であることからも分かる。

「前後ホイールはビート製キャストでスイングアームはメナーニ製角型。リヤショックも初期型コニーの鉄ボディを装着しています。D.I.D製のカラーチェーンも含め、こうしたパーツ類は、すべて当時モノです」

そう語る同店代表・渡辺さん。30年以上昔のパーツ、それもアフターマーケット製のカフェ用パーツを集めるのは、文字通り至難の業と思えるが、渡辺さんたちはそれも含めて、カスタムの楽しみと捉えているのだろう。ベースとなるバイク、パ

ーツも含めた上で、ビンテージの雰囲気を醸し出しているのだ。

一方、絶版純正パーツ、各種機能パーツなど、どうしても入手困難な人気として復刻。このヨシムラでも燃料タンク、ボイント&ダイナモカバ、手曲げマフラー、シングルシートなどは、BRCによるオリジナル品だ。とは言え、細部にまでこだわった作りにより、違和感などは、まったく感じさせない。

「最近では、純正フォークのトップキャップ交換タイプのエアバルブキットも復刻しました。パーツデザインはもちろんですけど、オリングを強化タイプにするなど、現代の技術もしっかり採り入れてます」(同)

単なるフルレストアではなく、あえてカフェにこだわることで生まれる、深い世界。これもまた、旧車ならではの魅力と言えるだろう。